

平成 29 年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業の受賞者の決定について

【要旨】

県では、本県三陸沿岸への研究人材の集積や海洋・水産研究の活性化を図るため、平成 21 年度から若手研究者を対象に、三陸をフィールドとした研究論文を募集・表彰する「岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業」を実施しています。

この度、平成 29 年度の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

1 受賞者及び受賞論文について

(1) 岩手県知事賞(1件)：岩手県三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容のもの

| 部門 | 氏名 | 所属 | 論文タイトル |
|------|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------|
| 一般の部 | まつもと ゆきお 松本 有記雄 | 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所 | 飼育に適した微細藻類によるエゾアワビ種苗生産技術の開発 |

※学生の部は該当者なし

(2) 特別賞：学生・一般の部ともに該当者なし。

今後の研究継続により、更なる成果が見込まれる研究又は独創性が高い内容のもの

2 岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業について

(1) 対象研究

ア 海洋生物、海洋環境など、広く海洋に関するものであること。または、水産資源の増養殖や加工、漁業経営及び海洋工学など、分野に関わらず広く水産振興に関するものであること。

イ 岩手県三陸海域（内水面及び陸域を含む。）を調査、研究したものであること。または、青森県八戸市から宮城県石巻市までを含む三陸海域（内水面及び陸域を含む。）を調査、研究したもので、本県の水産振興に資すると認められるもの。

(2) 応募資格

ア 学生の部

日本国内の大学等または高等専門学校で 4～5 年次に在学する学生、大学院生。

イ 一般の部

日本国内の研究機関等（大学、公設試験研究機関等）に所属（非常勤、臨時職員を含む）する 45 歳以下（平成 29 年 4 月 1 日現在）の研究者。

(3) 岩手県知事賞・特別賞の選考

専門家及び有識者による選考委員会（別添名簿）において、論文及び口頭発表の審査を行い受賞者を決定。

※第一次選考会（書面審査）10 月 3 日（火）

第二次選考会（口頭発表審査）10 月 30 日（月）

(4) 応募状況

学生の部 2 名、一般の部 4 名 計 6 名

〔参考〕論文の概要

【一般の部】

| 氏名 | 所属 | 論文タイトル |
|--------|-------------------------------|-----------------------------|
| 松本 有記雄 | 国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所 | 飼育に適した微細藻類によるエゾアワビ種苗生産技術の開発 |

【論文要旨】

エゾアワビの種苗生産では、浮遊幼生を採苗板に着底・変態させ、変態後の初期稚貝を飼育する一連のプロセスで、自然繁茂させた微細藻類を用いているため、着底変態率や稚貝の成長・生残が安定しない。本研究では、着底・変態のための基質として緑藻アワビモ *Ulva lens* を培養して、そこに初期稚貝の餌料珪藻として針型珪藻 *Cylindrotheca closterium* を組み合わせた新規採苗板を開発した。